

# 研究の概要【令和2年度（研究3年目）】

2年間の研究を経て道徳教育や道徳科の授業に関する意識が高まってきた3年目は、研究のまとめを意識しながらもより充実した授業づくりを行うこととした。新型コロナウイルスの流行に伴い、休校や授業形態の制限を受けつつも、このような状況だからこそ心の力を育む道徳教育を充実させるべく研修を進めた。

研究テーマは2年目より継続し、授業づくりに焦点を当てた副題を設定した。

## 令和2年度校内研修テーマ

自己の生き方を見つめ、よりよく生きよう  
とする心の力を育む道徳教育  
～考え・議論する道徳を目指した授業づくりを中心に～

### 【目指す児童像】

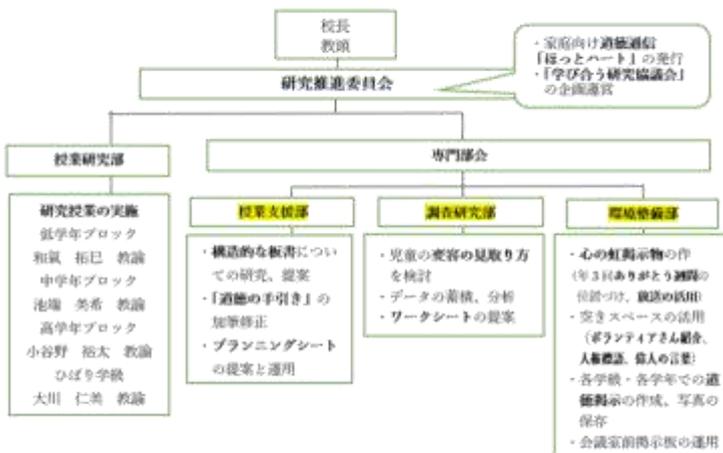
自分との関わりを通して価値について主体的に考え、多様な感じ方・考え方と出会い交流し、よりよく生きようとする児童

### 【発達段階に応じて目指す議論する姿】

(昨年度より継続、波線部のみ変更)

高学年	多様な感じ方・考え方を受け入れ、自分にとって価値のあるものは何かを考える。
中学年	相手の考え方と自分の考え方を比べて考える。
低学年	自分の考えをもち、相手に伝える。

### (1) 研究組織



令和元年度の反省から、専門部を3つの部（授業支援部・調査研究部・環境整備部）とした。

授業支援部では、軸がぶれない授業を作るためのプランニングシートについて検討し、様々な案の中から柏原小独自のプランニングシートを作成・提案した。令和2年度に行った研究授業では先行授業も含めて全ての授業にてプランニングシートを活用した。



また、研究2年目に作成した「柏原小学校 道徳の手引き」を加筆・修正し、更に良いものへ作り変えた。

### 授業支援部の取組

調査研究部では、児童のワークシートの提案と児童の変容を見取る視点の確認を行い、それらによって研究の検証を行うことにした。

ワークシートは、基本的には一年間同じ形で使用することにし、授業の振り返りを行う欄、自己評価をする欄を必ず設けることにした。



研究の検証は、6月と1月の児童のワークシートの記述を「児童の変容をみとる視点」「ワークシートにおける記述の分類と例」に基づいて分析し、研究を行うことで児童がどのように変容したかをみとった。

### 調査研究部の取組

A 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか。	1	道徳的価値にかかわる問題に対する判断の動機やそのときの心情を様々な視点から、考えようとしている。
	2	自分と違う立場や考え方を理解しようとしている。
	3	複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている。
B 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。	1	読みの教材の登場人物を自分自身に置き換えて考え、自分なりに具体的なイメージで理解しようとしている。
	2	現在の自分自身を振り返り、自分の行動や考えを見直している。
	3	道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解をさらに深めている。
	4	道徳的価値を実現する働きを自分のこととして捉え、考えようとしている。

記述の分類	ワークシートに表現される例	
	(A) 考えや思いの記述	(B) 理由の記述 (なぜなら～)
A1 様々な見方からの考え	(登場人物) は○○だから、～したと思う。また、□□だから、～したと思う。	左の記述に理由が書かれる。
A2 異なる考えの理解	○○側の人の意見から、□□という考えもあると知った。 ○○側の人の意見はたしか正しそうだがと思う。しかし、やはり自分は□□だと思う。	
A3 対立する場面での行動	○○という行動もあるのだと思った。	
B1 自分関与	自分だったら、○○だと考える。(行動する。)	
B2 自己の振り返りや変革	これまでの自分は○○だった。これからは～	
B3 議論による価値理解	今日の学習を通して、□□ということを知った。	
B4 人間理解・人間性への向き	(登場人物) は○○だと感じた。でも自分は、～	

環境整備部では、令和元年度から取り組んでいる「心の虹」を継続した。年に3回ありがとう週間を位置づけ、日頃の感謝に目を向ける機会を設けた。更に、放送委員会と協力して、昼の放送で「心の虹」の中から選んだメッセージを紹介する新たな取り組みを行った。

更に、会議室前掲示板に「今月の詩」コーナーを新設し、校内環境の整備を行った。



また、学校内の掲示板や各学年の掲示板、学級内の道徳掲示物の充実を図り、全校の児童が道徳的価値に触れる機会を意図的に設ける取り組みを提案した。



### 環境整備部の取組

研究推進委員会では、家庭向け道徳通信「ほっとハート」の発行を行った。教員によるコラムの掲載や、各学年の授業の紹介、環境整備部で作成した心の虹、今月の詩の紹介など、校内研修の取組を月2回のペースで紹介した。



### ほっとハート

## (2) 授業実践

研究3年目は、ブロックごとに授業づくりを行い、片方の学年が先行授業、もう片方の学年が研究授業という形で、全ての学年において研究授業に取り組んだ。

職員全員が参観しての研究授業は行えなかったが、4つの学年の授業はビデオで記録をし、授業者の反省や研究協議の内容を共有することで、職員全員での研修となるようにした。

### 第1回研究授業

1年1組『どんぐり』

授業者：和氣 拓巳 教諭

うそをついてしまったようすけに、なんて声をかけてあげますか。



### 第2回研究授業

5年3組『クマのあたりまえ』

授業者：小谷野 裕太 教諭

クマが「クマのほうがいい」と結論づけたのはなぜだろう。



### 第3回研究授業

ひばり学級 『ありがとうを見つけよう』

授業者：大川 仁美 教諭

栄養士さんや調理員さん、配膳員さんにお手紙を書きましょう。



### 第4回研究授業

3年1組 『SL公園で』

授業者：池端 美希 教諭

友達を止めることって本当に必要なのかな？どうして必要だと思うの？



指導者：ふじみ野市立西小学校教頭

鈴木 孝雄 先生

[各学年の取組のまとめ](#)